



学校の働き方は変わる!

<https://aka.ms/tankyu>

日本マイクロソフト
栗原 太郎 氏著

を、独自の視点で **図解**



マイクロソフト
認定教育イノベーター

さいたま市立大成中学校
小口 稚聡

働き方改革は 探求活動



1

探究型の授業

体験したことのない学びを
創り出すこと

- ・ 答えのない探究活動
- ・ これからの時代に必要な
価値創造をする力

2

そのためには

個性豊かな 先生方同士の対話
や
教育的価値観の相対化

先生方の 協働性 が必要

3

個性豊かな先生方同士の対話
や
教育的価値観の相対化

協働性の発揮には

先生方の

- ・心のゆとり
- ・余白の空間と時間

が大切

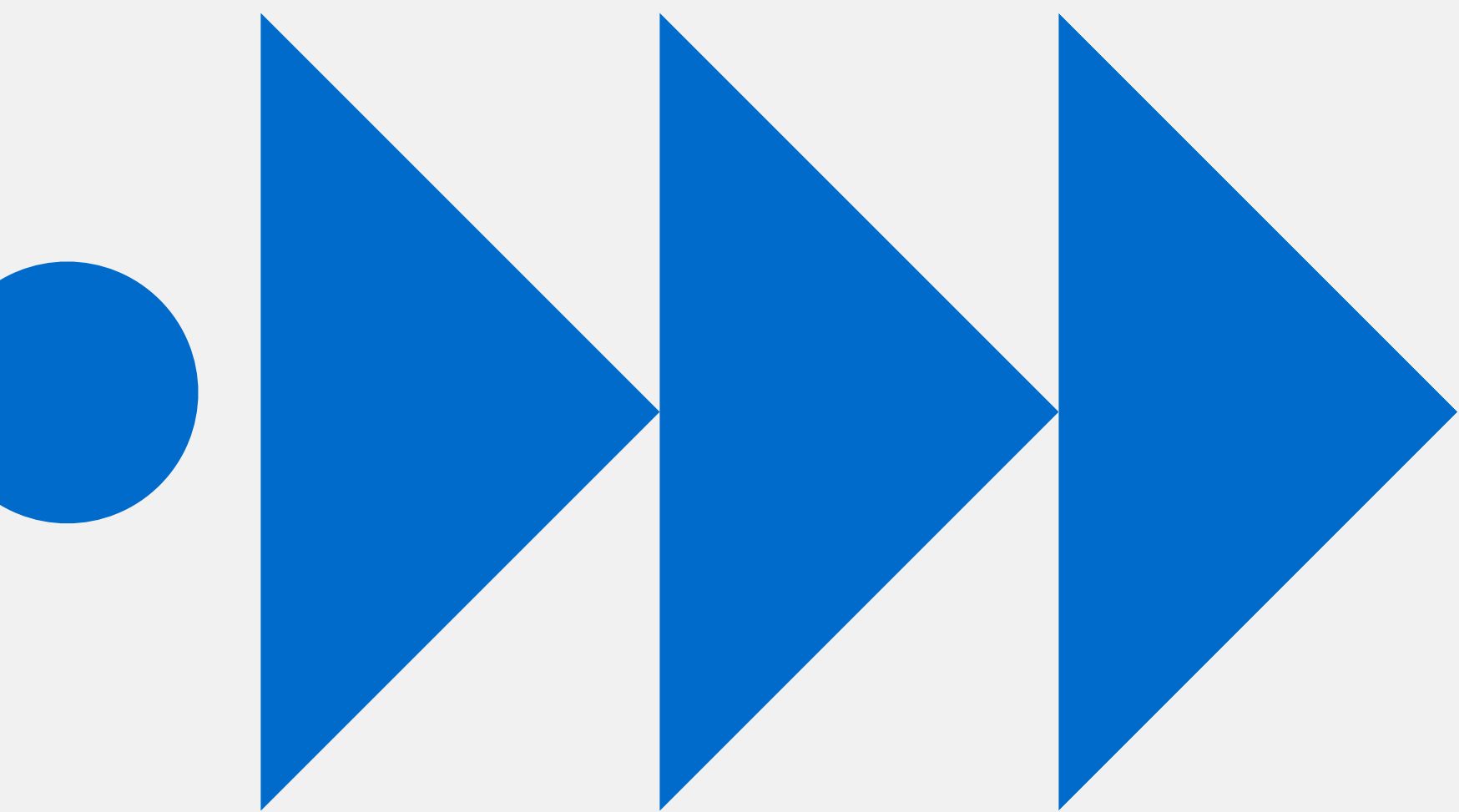
現状

静かで せわしない職員室

既存を踏襲
することで精一杯

静かだが
必死に作業している

実は
皆、優しく協力的で、
教育に熱い情熱
を持っている



魔法のように『学校が変わる！』

3つの改革

魔法のように『学校が変わる!』 3つの改革

1

繰り返し業務

伝達 集計 転記

2

働く環境

ICT環境のセキュリティ問題

3

コミュニケーション

対話的コミュニケーション

3つの改革

1

繰り返し業務

伝達 集計 転記

伝達

複数の先生が、同じ連絡をする

必要のない生徒も聞くことを強いられる

ICTで

物理的な制約からの解放

仮想的空間を自在に形成

- ・チーム・チャンネル
- ・チャット・メンション

3つの改革

1

繰り返し業務

伝達 集計 転記

集計 転記

膨大な集計→いたるところへの転記

壮大な伝言ゲーム

ICTで

自らの手で
自動化できる

伝達・集計・転記を **つなく**

・PowerPlatformなど

3つの改革

2 働く環境

ICT環境のセキュリティ問題

『安全じゃないかもしれない』がもたらす現場の疲弊と利便性の低下

境界型（性善説）

領域の中で守っていく
基本的に紙のセキュリティと同じ

最新

ゼロトラスト（性悪説）

- ・ AIで暗号化・教員以外開けない仕組み
- ・ 故意の持ち出しも防ぐ高いレベルの対策

家で
仕事ができたら
どんなに
助かるか、

各自が『生産性が上がる環境を選択できる』学校現場への転換

3つの改革

3 コミュニケーション

対話的コミュニケーション

異なる価値観がぶつかり合いながらも 前へ進もうとするのが 対話



メール

伝達手段

- ・ 読み手に 解釈の余地を与えない
- ・ 精巧な、長い文章
- ・ わかること、が目的

決められたことをミスなく丁寧に
の時代に活躍

3つの改革

3 コミュニケーション

対話的コミュニケーション

異なる価値観がぶつかり合いながらも 前へ進もうとするのが 対話



チャット

対話手段

- 短く、素早く
- 表情 を見せる
- 問いが生まれる隙、を設ける

『問い』『疑問』『わからない』を
未完成のまま共有する文化



3つの改革

3 コミュニケーション

対話的コミュニケーション

異なる価値観がぶつかり合いながらも 前へ進もうとするのが 対話

Teamsで自在に操る 対話の場

価値創造を促進するもの

誰を

強制か
任意か

人数

グループか
個人か

誰に向かって
しゃべるのか

インプット・アウトプットが

膨大で多種多様に

3つの改革

3 コミュニケーション

対話的コミュニケーション

異なる価値観がぶつかり合いながらも 前へ進もうとするのが 対話

Teamsで自在に操る 対話の場

価値創造を促進するもの

複数の場で 同時に
コミュニケーションがとれる

インプット・アウトプットが
膨大で多種多様に



3つの改革

3 コミュニケーション

対話的コミュニケーション

異なる価値観がぶつかり合いながらも 前へ進もうとするのが **対話**

Teamsで自在に操る **対話の場**

価値創造を促進するもの

コメントが残る

- **思考の相対化**
- 学習履歴として
蓄積・**解析**・**授業の再構築**へ



3つの改革

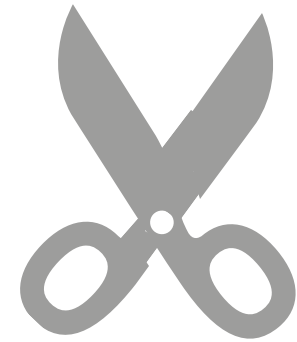
3 コミュニケーション

対話的コミュニケーション

異なる価値観がぶつかり合いながらも 前へ進もうとするのが **対話**

Teamsで自在に操る **対話の場**

伝達



分ける

会話

必要な コミュニケーションの量を増やす

3つの改革

3 コミュニケーション

対話的コミュニケーション

異なる価値観がぶつかり合いながらも 前へ進もうとするのが **対話**

Teamsで自在に操る **対話の場**

対話をひらく

教師に求められる 場をコーディネートしていく **役割**

どこから始めたらよいのか

結論

まず、
全員で校務活用
から

働き方改革は
先生方の探究活動

どこから始めたらよいのか

結論

まず、
全員で校務活用
から

孤立化を回避する
環境づくり

全員が一緒に使っていく

仕組みづくり

(Teams活用の習慣化)

→欠席連絡など



働き方改革に 着手

今までの業務に

疑問を持ち、協議し、見直す

解決手段の一つが ICT化

働き方改革は
先生方の探究活動

働き方に1

先生方の

- ・心のゆとり
- ・余白の空間と時間

が生まれる

2

先生方の協働性が 発揮される

個性豊かな
先生方同士の対話や
教育的価値観の相対化

3

探究型の授業が創出される

体験したことのない学びを創り出す授業

- ・答えのない探究活動
- ・これからの時代に必要な
価値創造をする力

もう
前の生活には
戻れない！